

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・少人数のグループでの実習や、一人ずつの調理等工夫して調理実習を行い、調理技能について学ばせることができた。

(2) 課題

- ・細かい裁縫技能について十分な習得が得られていない。
- ・継続的に指導しないと、指導内容が定着しない。
- ・知識で学んだことが、生活の中で十分に実践できていない。

2 授業の分析

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日常的に家庭内で裁縫に取り組む機会が少ないこともあり、裁縫技能やミシンの使い方等、繰り返し練習し学んだことを定着させる必要がある。 ・調理実習をより安全で効率的に行い、一人一人が技能を身に付けることができる方法を考えることが必要である。	・日常生活の中の問題を課題として捉えることはできるが、それを生活の中で全て実践するということには至っていない。	・実習に臨む意欲は大変高い児童が多く、楽しく取り組んでいる。

3 授業改善のポイント

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・裁縫技能については繰り返し練習させ、作品づくりを通して実践させることによって定着を図るようにする。 ・ICTを活用し、作業の手順をその都度確認できるようにする。 ・調理技能については、少人数グループでの実習を行い、定着を図る。 ・安全に取組めるように複数の教員で指導する。	・衣・食・住に関して日常の食事の仕方や衣服の選び方など、普段の生活と結び付けて考えていけるように扱う。	・学んだことや身に付けた技能を、家庭学習でも取り組ませて活用させ、実際の生活の中で実践できるようにし、さらなる意欲の向上を図る。

